

雄物川水系 岩見ダム



秋田県秋田地域振興局建設部工務課
岩見ダム管理事務所

〒019-2742 秋田県秋田市河辺三内字財の神国有林地内
TEL・FAX 018-883-2301

岩見ダムの目的

1. 洪水調節

大雨で川の水が増えたときに、いちどにたくさん水が下流にたがれないようにして、洪水による被害を軽減するようにします。

2. 流水の正常な機能の維持

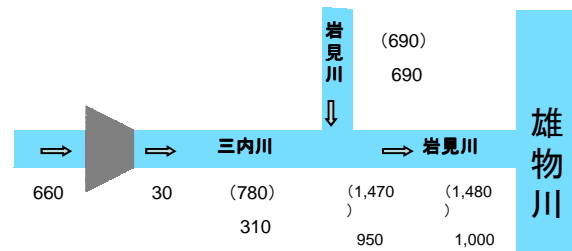
ダムからの放流により、川の良好な河川環境を維持するようにしています。

3. 発電

ダムにためた水を利用して発電を行います。最大5400KW

ダムの大きさは？

秋田県庁と比べると、高さは約2.5倍の、66.5m、ダムに貯められる水の量は、県庁約250杯分の1,930万立方メートルです。



ダム上流からの流入660m³/s（計画上の最大出水量）の大部分をダムで貯留し、最大30m³/sの放流することで下流への洪水被害を軽減する役割をしています。

ダム断面図

洪水時満水位 EL=150.5m

常時満水位 EL=147m

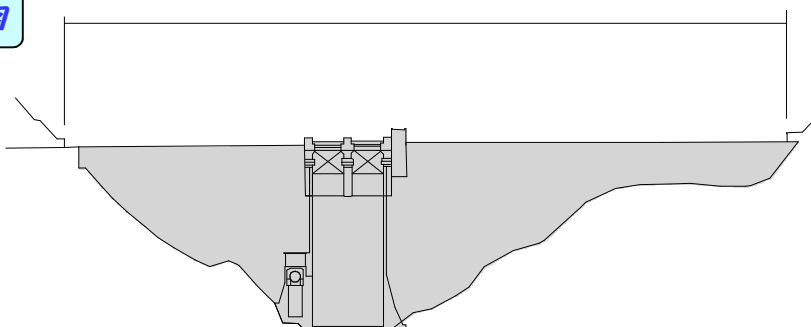
制限水位 EL=133m

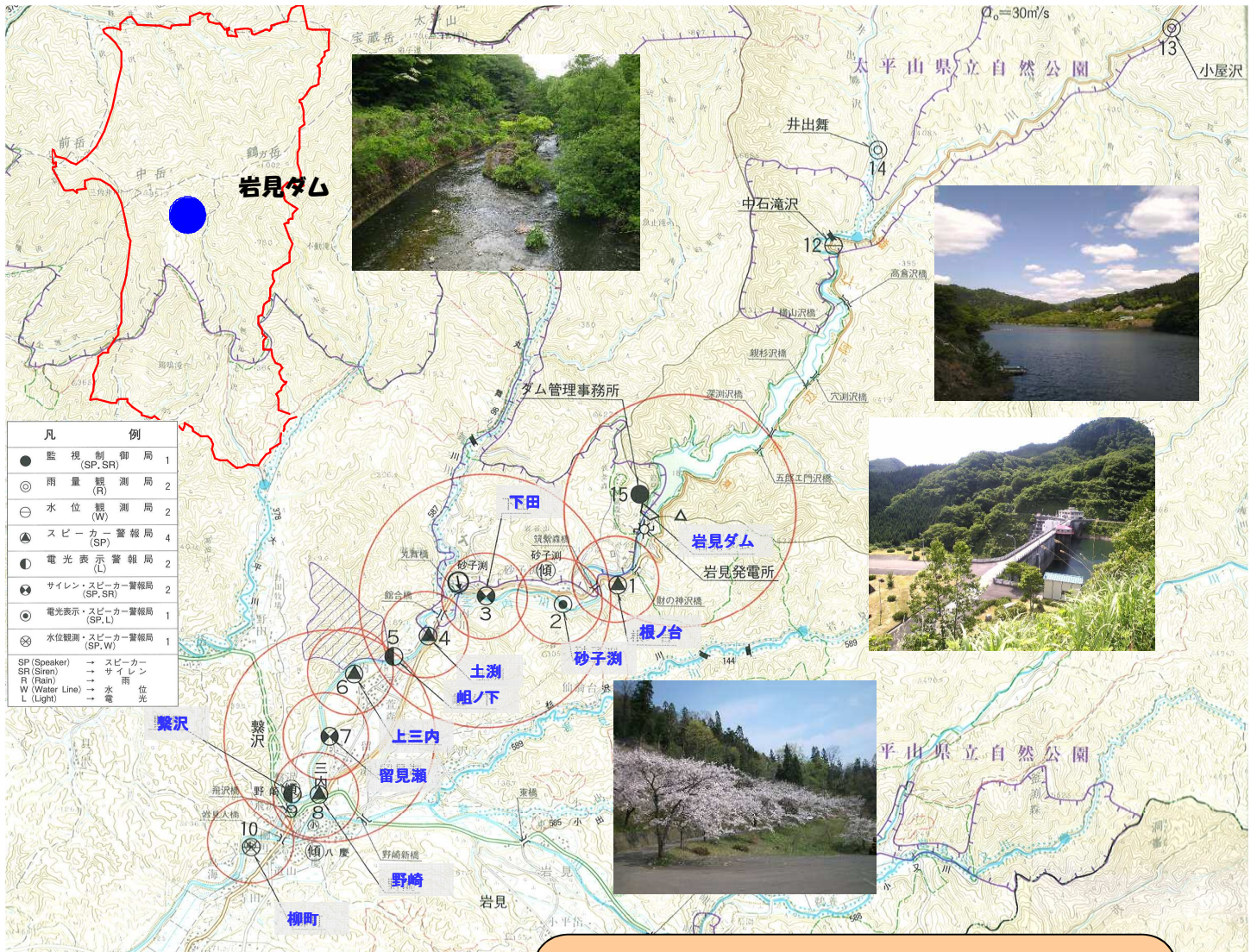
堤高 H=66.5m

堤長 L=242.0m

岩見ダム諸元	
河川名	雄物川水系 岩見川右小支三内川
型式	コンクリート重力ダム
ダム高	66.5m
ダム堤長	242.0m
流域面積	73.1km ²
湛水面積	0.95km ²
貯水池容量	19,300,000m ³
有効貯水量	16,000,000m ³
洪水調節容量	12,500,000m ³
計画洪水流量	1100m ³ /s
計画放流量	30m ³ /s
調節流量	630m ³ /s
常時発電電力	1100KW
最大発電電力	5400KW
最大使用水量	12m ³ /s
竣工年度	昭和54年4月

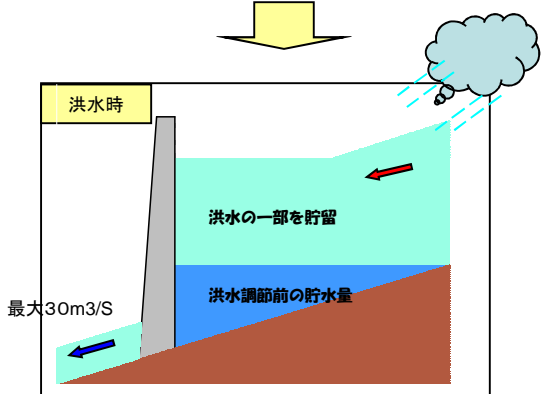
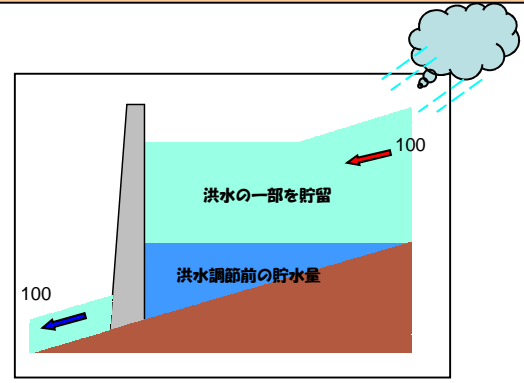
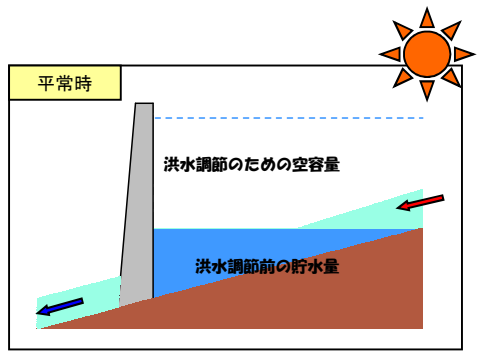
ダム下流面図





岩見ダムの洪水調節のしくみ (イメージ)

計画規模を超える洪水への対応
 異常な豪雨により、計画よりも大きい量の洪水がダム貯水池へ流れ込むことがあります。ダムでも精一杯、洪水を溜めつつ下流へ流す操作を行います。ダムに溜めることが出来る水量には限界があります。
 このような場合には、下流に流す量を徐々に増加させ、貯水池に入ってくる水量と同じ量を下流に流すよう（自然河川状態）にします。



洪水時に、流れってくる水のうち下流に最大で30m³/sだけ流し、その他の水をダムに貯めて洪水を軽減します。

